

優秀賞

## 見つけたよ、すてきなまほう

山口県 三輪小学校 二年  
木村 雪音

しんごうきがないばしょで、車のうんでんしゅさんがとまってくれたよ。(うれしいなあ。いい人だなあ。ありがとうございます) って思ったよ。

わたしは、だれかにゆずったことがあるかな。ぎょうかん時間に、かなくんにブランコのじゅん番をゆずったことがあったよ。そのときかなくんが、

「ありがとう。」

って、言ってくれたよ。わたしもうれしくなったよ。

今は夏休みで、おうちにいることが多いけれど、かぞくにゆずったことがあるかな。あれれ、思い出せないな。思い出すのは、ケンカをしたことばかりだ。今日もリビングでねっころがっていたら、お兄ちゃんもねっころがってきたよ。

「もう、せまいじゃん、あっちいって。」って、わたしが言ったら、

「ぼくが先にねちよったんよ。」って、お兄ちゃんが言ってきて、けり合いのケンカになっちゃった。さいごはお母さんに、

「いいかげんにしなさい。おたがいにちよっとずつ、ほんたいがわにずれればええじゃろ。」

って、おこられたよ。お兄ちゃんもわたしも、プンプン、イライラしちゃって、すごくいやな気持ちになったよ。

どうして、ケンカばかりしちゃうんだろう。どうすれば今日、お兄ちゃんとなかよくすごせたのかな。まきもどして考えてみよう。

リビングでねっころがっていたら、お兄ちゃんもねっころがってきたよ。

「お兄ちゃん、せまいからずれて。わたしもずれるけえ。」って、わたしが言ったら、

「わかったよ。」って、お兄ちゃんが言ってきて、おしまい。お母さんにもおこられないし、テレビも楽しい気持ちで見られるし、とってでもいいかんじ。つぎは、こういうふうにしてみよう。

どうすれば、ケンカをせずにすんだかを考えていて、気がついたことが二つあるよ。一つ目は、ゆずりあい、みんながニコニコになるまほうだということ。ゆずりあうと、「ありがとう」ということばが生まれて、みんなうれしくなるよ。

二つ目は、ゆずりあいをするとき、自分が先にゆずった方がいいということ。あいてがゆずるのをまっていたら時間ももったいないし、「なんでゆずってくれんのん」って、イライラしてケンカになりそうだから。

これからは、おうちの中でもゆずりあいのまほうをつかっていくよ。かぞくがニコニコえがおになると、わたしもうれしいよ。おうちでニコニコパワーをためたら、きっと、おうちいがいのところでも、ゆずりあいのまほうがたくさんつかえるよ。

そして、ちきゅうにいる人がみんな、ニコニコになったらいいな。